

## 評価結果の公表

### 施策名 商業の活性化と地域資源を生かす観光の推進

#### 1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	みらいの健康
政策	活力とにぎわいがあふれるまち
施策	商業の活性化と地域資源を生かす観光の推進
主管部局	産業振興部
主管課	商工業ウェルネスバレー推進課
関係課	都市政策課、商工業ウェルネスバレー推進課

#### 2 施策が目指す大府市の姿

内容	駅周辺を中心にやる気のある事業者がそれぞれ地域に愛される店舗経営に取り組むとともに、地域コミュニティに積極的に参画することで駅周辺が活性化し、にぎわいと活気があふれるまちになっています。また、地域資源の掘り起こしと磨き上げを行うことで、郷土愛とおもてなしの心の醸成につながり、まちの魅力が高まるとともに人々が訪れたいまちになっています。
----	--

#### 3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	38,951	0
(2)事業費	95,628	439,444
フルコスト（歳出合計）	134,579	439,444
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	217,500
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	4,379	0
(5)一般財源（市税収入など）	91,249	221,944
歳入合計	95,628	439,444

#### 4 「みらいの健康」指標（施策評価指標）

##### 有効性指標 1

指標名	「駅周辺のにぎわいづくりに満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	22.5	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	25.0	25.0	28.0	28.0	31.0	31.0	34.0	34.0	37.0	37.0	40.0		
実績値	21.1	21.1	26.3	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「駅周辺のにぎわいづくり」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	満足度の数値は目標値に徐々に近づいています。引き続き夏まつりや夜市、駅前イルミネーション、駅西マルシェなどを継続的に実施することで駅周辺のにぎわい作りを進めていくことが必要と考えます。												

##### 有効性指標 2

指標名	「市内で買い物がしやすい環境に満足している」市民の割合										単位	%	
											現状値	44.4	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	47.5	47.5	50.0	50.0	52.5	52.5	55.0	55.0	57.5	57.5	60.0		
実績値	47.5	47.5	54.1	54.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市民意識調査の「市内で買い物がしやすい環境」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	市内に商業施設が新しく立地してきているため、市民の買い物しやすい環境は整ってきていると考えます。												

評価結果の公表

施策名 商業の活性化と地域資源を生かす観光の推進

有効性指標 3

指標名	観光入込客数										単位	人
											現状値	120,000.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	120,900.0	121,800.0	122,700.0	123,600.0	124,500.0	125,400.0	126,300.0	127,200.0	128,100.0	129,000.0	130,000.0	
実績値	0.0	6,300.0	120,000.0	120,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	愛知県観光入込客統計調査における観光入込客数（つつじまつりと産業文化まつりの集計。盆梅展と七福神めぐりは一月の客数が基準以下のため集計対象外。げんきの郷、健康の森公園利用者も旅行者と日常利用者の判別が不可能のため集計対象外）											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	屋外でのイベントが多いため天候で来場者数は左右される部分ではありますが、コロナ禍から経済が回復基調にある中で本市のイベントの来場者数もコロナ以前に戻ってきています。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名		妥当性	A
商業団体等育成事業	商工業ウェルネスバレー推進課	9,301 (9,301)	商業団体支援事業数		妥当性	A
			単年度計画値	8.0	有効性	A
			単年度実績値	6.0		
			単年度達成率	75.0%		
			最終目標に対する達成率	75.0%	効率性	A
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 地域の商業店舗は、新型コロナウイルス感染症の影響は回復しているものの、市内外の大規模商業施設への買い物客の流出の流れに加え、商業者の高齢化が進んでおり、商店が活気づくような施策を実施する必要があります。引き続き大府商工会議所や地元商店と連携してにぎわい溢れるまちづくりに注力します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
中心市街地整備事業	中心市街地整備室	34,038 (34,038)	駅周辺まちづくり検討会議等の開催回数		妥当性	A
			単年度計画値	8.0	有効性	A
			単年度実績値	8.0		
			単年度達成率	100.0%		
			最終目標に対する達成率	100.0%	効率性	A
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 今後は、計画書や会議等の内容を具現化することが必要となるため、引き続き、関係各所と調整しながら進めていきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
観光推進事業	商工業ウェルネスバレー推進課	16,962 (16,962)	つつじまつり来場者数		妥当性	A
			単年度計画値	33,500.0	有効性	A
			単年度実績値	27,000.0		
			単年度達成率	80.6%		
			最終目標に対する達成率	-	効率性	A
<b>事務事業の方向性</b>						
B：現状のまま継続 観光資源として高い魅力を持った地域資源を抽出して、磨き上げを行い、SNS等の効果的な手法で広くPRすることが必要です。						

評価結果の公表

施策名 商業の活性化と地域資源を生かす観光の推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	値		
産業文化まつり事業	商工業ウェルネスバレー推進課	36,188 (36,188)	指標名	来場者数	妥当性	A
			単年度計画値	92,000.0	有効性	A
			単年度実績値	93,000.0		
			単年度達成率	101.1%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	93.0%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 新しい企画等を織り交ぜながら、毎回多くの方に楽しんでもらえる事業となるよう検討を進めていきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
			指標名	値		
健康にぎわいステーション事業	商工業ウェルネスバレー推進課	32,834 (32,834)	指標名	来館者数	妥当性	A
			単年度計画値	51,000.0	有効性	A
			単年度実績値	41,817.0		
			単年度達成率	82.0%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	82.0%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 情報発信に加え、市民等に魅力を感じて継続的に来館してもらえる施設となるよう、具体的な取組を実施していきます						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	<p>コロナ禍で制限されていたイベント等は全て再開されました。新たに駅前でのバイオリン夜市や二ツ池の河津桜を活用したさくらまつりを開催し、市内外の多くの方に御来場いただき、まちのにぎわいを創出することができました。</p> <p>一方、イベントという一過性のもので終わるのではなく、継続的で恒常的なまちのにぎわいに繋がる仕掛けが必要と感じています。</p>
施策の推進に向けた今後の方針	<p>付加価値の高いイベントに取り組むと共に、恒常的なまちのにぎわいを作り出す仕掛けを検討していきます。</p>

## 評価結果の公表

### 施策名 基幹産業である製造業の育成、支援と雇用環境の整備

#### 1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	みらいの健康
政策	活力とにぎわいがあふれるまち
施策	基幹産業である製造業の育成、支援と雇用環境の整備
主管部局	産業振興部
主管課	商工業ウェルネスバレー推進課
関係課	商工業ウェルネスバレー推進課

#### 2 施策が目指す大府市の姿

内容	企業立地が進み、「大府市中小企業の振興でまちを元気にする条例」に基づいた取組の推進により、地域経済が活性化するとともに、ものづくり中小企業が元気に事業を営めるまちになっています。また、働き手がワーク・ライフ・バランスを実現した暮らしができるまちになっています。
----	--

#### 3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	50,981	0
(2)事業費	232,630	164,312
フルコスト（歳出合計）	283,611	164,312
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	15,777	33,000
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	10,852	0
(5)一般財源（市税収入など）	206,001	131,312
歳入合計	232,630	164,312

#### 4 「みらいの健康」指標（施策評価指標）

##### 有効性指標 1

指標名	市の支援制度を活用して工場の新設や増設を行った企業数										単位	社	
											現状値	28.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	32.0	36.0	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	70.0		
実績値	30.0	35.0	40.0	48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	市の支援制度を活用して工場の新設や増設を行った企業数（延べ）												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	工場立地は資材高騰、原油高、円安などの社会情勢に大きく影響を受けるところではありますが、情勢を注視しながら伴走支援することで、計画値を達成することができました。												

##### 有効性指標 2

指標名	製造品出荷額等										単位	十億円	
											現状値	1,053.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	1,090.0	1,130.0	1,180.0	1,220.0	1,260.0	1,300.0	1,340.0	1,380.0	1,420.0	1,460.0	1,500.0		
実績値	1,252.8	1,274.3	1,307.5	1,280.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	R2は工業統計調査、R3は経済センサス、R4から経済構造実態調査製造業事業所調査における製造品出荷額等。												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	計画値を達成することができています。しかし、自動車不正問題やEVの先行きが不透明であること等のネガティブな要素もあり、今後の先行きに影響を与える可能性があります。												

評価結果の公表

施策名 基幹産業である製造業の育成、支援と雇用環境の整備

有効性指標 3

指標名	「市内で働く場所・機会に満足している」市民の割合										単位	%
											現状値	29.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	33.0	33.0	36.5	36.5	40.0	40.0	43.5	43.5	47.0	47.0	50.0	
実績値	29.1	29.1	26.5	26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「市内で働く場所・機会」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合 調査は2年おきに実施											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	市内企業では求人難の状況が続いています。非常に多くの企業が雇用したいという意思がありますが、人材確保ができていない状況です。本指標の満足度が上がっていない要因は、求人と求職の職種のミスマッチが発生していることだと思われます。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
産業立地促進 奨励事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	189,561 (189,561)	指標名	奨励措置の指定数			妥当性	A
			単年度計画値	2.0			有効性	A
			単年度実績値	4.0				
			単年度達成率	200.0%			効率性	A
			最終目標に 対する達成率	200.0%				
事務事業の方向性								
A：拡大 企業の投資は物価高、原油高、円安等、グローバルな経済情勢にも大きく影響を受けるため、情勢を注視してタイミングを逸することなく、優良な企業立地案件を掴み、進めていく必要があります。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
ウェルネスバ レー推進事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	19,121 (19,121)	指標名	ウェルネスバレー推進協議会の開催数			妥当性	A
			単年度計画値	1.0			有効性	A
			単年度実績値	1.0				
			単年度達成率	100.0%			効率性	A
			最終目標に 対する達成率	100.0%				
事務事業の方向性								
A：拡大 ウェルネスバレー地域において、ウェルネスバレー推進協議会を中心に関係機関や産業界、行政が連携し、健康づくり、医療、福祉、農と食、新産業育成等の分野において、超高齢社会の社会問題の解決に向けた先駆的な取組を推進します。令和6年度は、10月に愛知県のSTATION Aiが開業するため、県内2番目のSTATION Aiパートナー拠点として市内企業とスタートアップとの連携による地域活性化に取り組みます。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
新事業創出支 援事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	25,610 (25,610)	指標名	市補助制度の活用事業所数			妥当性	A
			単年度計画値	35.0			有効性	A
			単年度実績値	33.0				
			単年度達成率	94.3%			効率性	A
			最終目標に 対する達成率	94.3%				
事務事業の方向性								
B：現状のまま継続 どのタイミングで何の支援策の実施が求められているかを判断できるように引き続き情報収集等を行っていきます。								

評価結果の公表

施策名 基幹産業である製造業の育成、支援と雇用環境の整備

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
雇用環境整備 事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	10,916 (10,916)	指標名	就職フェア参加者数	妥当性	A
			単年度計画値	400.0	有効性	A
			単年度実績値	289.0		
			単年度達成率	72.2%		
			最終目標に 対する達成率	72.2%	効率性	A
<b>事務事業の方向性</b>						
A：拡大 少子化等の影響により、生産年齢人口は減少しており、企業の採用活動は厳しい状況が続いています。また、男性の育児休業の取得促進、女性活躍の推進、障がい者雇用における法定雇用率の上昇、最低賃金の上昇等、求められる雇用環境の整備は年々増大しており、求職者から選ばれる企業となるため、各企業はその対応に追われています。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
雇用促進事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	9,359 (9,359)	指標名	大府市就業支援センターを通じた就職者数	妥当性	A
			単年度計画値	370.0	有効性	A
			単年度実績値	177.0		
			単年度達成率	47.8%		
			最終目標に 対する達成率	47.8%	効率性	A
<b>事務事業の方向性</b>						
A：拡大 雇用情勢の変化を踏まえながら、ハローワーク刈谷等と連携して効果的な事業を展開できるように検討していきます。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
商工会議所運 営支援事業	商工業ウェル ネスバレー推 進課	22,043 (22,043)	指標名	事業所ヒアリング等対応件数	妥当性	A
			単年度計画値	1,800.0	有効性	A
			単年度実績値	2,485.0		
			単年度達成率	138.1%		
			最終目標に 対する達成率	138.1%	効率性	A
<b>事務事業の方向性</b>						
A：拡大 新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、引続き市内事業者を中心とした会員事業者の効果的な伴走支援を展開することで、地域経済の活性化に寄与していく必要があります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策を とりまく状況 の変化や課題 等)	資材・原油価格の高騰、人手不足、自動車不正問題、EVの先行きなど、事業活動に大きな影響を与える要因が多く、先行きが不透明な状況が継続しています。
施策の推進 に向けた 今後の方針	中小企業の新事業展開や販路開拓、業種・業態転換などへの支援策及びデジタル化・DX推進のための施策について検討するとともに、人材確保支援も継続的に取り組んでいく必要があります。

評価結果の公表

施策名 地域特性を生かした都市近郊農業の推進

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	みらいの健康
政策	活力とにぎわいがあふれるまち
施策	地域特性を生かした都市近郊農業の推進
主管部局	産業振興部
主管課	農政課
関係課	農政課、商工業ウェルネスバレー推進課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	適切に管理された農業生産基盤のもと、農業を支える多様な担い手の確保・育成や担い手への農地集積が進められています。また、6次産業化などにより農畜産物に付加価値を与え、安定した農業経営が営まれるとともに、市民と農業者の交流や地産地消が進み、地域特性を生かした都市近郊農業が盛んなまちになっています。
----	---

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	62,155	0
(2)事業費	291,666	121,352
フルコスト（歳出合計）	353,821	121,352
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	151,412	21,350
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	30,439	0
(5)一般財源（市税収入など）	109,815	100,002
歳入合計	291,666	121,352

4 「みらいの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	担い手への農地集積面積										単位	ha	
											現状値	235.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	236.5	238.0	239.5	241.0	242.5	244.0	245.5	247.0	248.0	249.0	250.0		
実績値	214.0	257.1	260.6	257.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	「担い手の農地利用集積状況調査」における利用集積面積												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	地域の話合いにより、農地の集積・集約化を進めていることや大府市農地集積補助金などにより、計画以上に担い手への農地集積が進んでいます。												

有効性指標 2

指標名	農業産出額等										単位	千円	
											現状値	312.0	
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
計画値	315.0	317.0	320.0	322.0	325.0	327.0	330.0	332.0	335.0	337.0	340.0		
実績値	391.0	372.0	372.0	375.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
算定式、データの出所等	「農林水産省の市町村別農業産出額（推計）の値」 + 「6次産業化事業に取り組む事業者の売上高」												
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	直売所の開設や6次産業化、有機農業などにより農業産出額が伸びています。												

評価結果の公表

施策名 地域特性を生かした都市近郊農業の推進

有効性指標 3

指標名	「地元で採れた食材・食品を食べることに取り組んでいる」市民の割合										単位	%
											現状値	60.3
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	61.0	61.0	62.0	62.0	63.0	63.0	64.0	64.0	64.5	64.5	65.0	
実績値	57.7	57.7	58.0	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査で「できる限り、地元で採れた食材・食品を食べることに積極的に」又は「ある程度」取り組んでいると答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	最新の市民意識調査（令和4年度実施）では、実績値が計画値を下回りましたが、給食でのおおぶニック農産物や伝統野菜の利用、キッズ野菜ソムリエの任命などにより小学生を対象に食育を進めています。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
多様な担い手育成事業	農政課	19,719 (19,719)	指標名	認定新規就農者数（令和2年度からの累計）		妥当性	A	
			単年度計画値	4.0		有効性	A	
			単年度実績値	5.0		効率性	A	
			単年度達成率	125.0%				
			最終目標に対する達成率	45.5%				
事務事業の方向性								
A：拡大 健耕サポーターや農福連携により市民の力を活用して労働力不足に悩む農業者の負担軽減を図ることや、国の制度活用や市独自の取組により新規就農者や親元就農者を支援します。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
営農振興事業	農政課	163,892 (163,892)	指標名	認定農業者数		妥当性	A	
			単年度計画値	66.0		有効性	A	
			単年度実績値	75.0		効率性	A	
			単年度達成率	113.6%				
			最終目標に対する達成率	89.3%				
事務事業の方向性								
A：拡大 大府市営農振興対策協議会や農業者団体の意見を聞きながら、農業経営が安定するような支援をします。								
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標				評価点	
農業環境整備事業	農政課	8,325 (8,325)	指標名	有害鳥獣捕獲数		妥当性	A	
			単年度計画値	130.0		有効性	A	
			単年度実績値	206.0		効率性	A	
			単年度達成率	158.5%				
			最終目標に対する達成率	137.3%				
事務事業の方向性								
A：拡大 市独自で有害鳥獣（カラス）の駆除を行うとともに、県などと連携して新たな鳥獣被害防止対策や畜産環境対策を進めます。								

評価結果の公表

施策名 地域特性を生かした都市近郊農業の推進

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
農業委員会活動指導事業	農業委員会事務局	33,625 (33,625)	指標名	遊休農地面積	妥当性	A
			単年度計画値	13.7	有効性	A
			単年度実績値	15.0		
			単年度達成率	91.3%	効率性	B
			最終目標に対する達成率	58.7%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 農業者の高齢化・減少により、遊休農地が拡大していく懸念があります。このような事態を回避するため、地域が目指すべき将来の農地利用を示す目標地図の素案を作成し、担い手へ農地の集積・集約をさらに進めていく必要があります。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
地産地消推進事業	農政課	8,328 (8,328)	指標名	地産地消に関する講座等の開催数	妥当性	A
			単年度計画値	9.0	有効性	A
			単年度実績値	12.0		
			単年度達成率	133.3%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	120.0%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 引き続き出前講座などによる地産地消の推進を行うとともに、6次産業化に取り組む農業者の支援を行います。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
農業用施設整備事業	農政課	88,680 (88,680)	指標名	累計ため池の耐震対策箇所数	妥当性	A
			単年度計画値	6.0	有効性	A
			単年度実績値	7.0		
			単年度達成率	116.7%	効率性	A
			最終目標に対する達成率	58.3%		
<b>事務事業の方向性</b> B：現状のまま継続 県営事業や単独土地改良事業を実施し、効果的な農業生産基盤の整備及び保全を図ります。						

6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	農地集積や農業産出額などは計画を超えていますが、物価高騰等により農業者の苦しい状況は続いています。また、高齢化などにより、担い手確保が厳しい状況となっていますが、民間事業者との連携や市民団体等の活躍により、農業振興の機運は高まっています。
施策の推進に向けた今後の方針	環境負荷低減や農業者所得向上に向けた取組が必要となっています。民間事業者や市民団体と連携した農業振興や本市農産物のブランド力を高める支援をしていきます。

評価結果の公表

施策名 利便性の高い公共交通ネットワークの形成

1 第6次大府市総合計画における位置づけ、担当課

健康領域	みらいの健康
政策	活力とにぎわいがあふれるまち
施策	利便性の高い公共交通ネットワークの形成
主管部局	都市整備部
主管課	都市政策課
関係課	都市政策課

2 施策が目指す大府市の姿

内容	市民の目的地への円滑な移動や外出を促す機能が強化され、快適で自由に利用できる公共交通ネットワークを形成したまちになっています。
----	---

3 令和5年度 施策フルコスト（単位：千円）

歳出（使ったお金）	R 5決算	R 6予算
(1)人件費	12,335	0
(2)事業費	188,963	176,220
フルコスト（歳出合計）	201,298	176,220
歳入（お金の出所）	R 5決算	R 6予算
(1)国庫支出金（国から出たお金）	0	0
(2)県支出金（愛知県から出たお金）	0	0
(3)市債（市の借金）	0	0
(4)その他特定財源（使い途が決まっているお金）	25,721	0
(5)一般財源（市税収入など）	163,242	176,220
歳入合計	188,963	176,220

4 「みらいの健康」指標（施策評価指標）

有効性指標 1

指標名	「バスや鉄道などの公共交通の整備に満足している」市民の割合										単位	%
											現状値	32.5
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	34.0	34.0	35.5	35.5	36.5	36.5	37.5	37.5	38.5	38.5	40.0	
実績値	34.2	34.2	38.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	市民意識調査の「バスや鉄道などの公共交通の整備」に対する満足度で「満足」又は「おおむね満足」と答えた市民の割合											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	循環バスの路線改正や交通系ICカード決済サービスの導入、乗り方教室の開催など、利便性向上及び利用促進の取組を行っています。											

有効性指標 2

指標名	循環バスの年間利用者数										単位	人
											現状値	197,346.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	199,400.0	201,460.0	203,520.0	205,580.0	207,640.0	209,700.0	211,760.0	213,820.0	215,880.0	217,940.0	220,000.0	
実績値	131,349.0	152,062.0	174,006.0	191,756.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	循環バスの年間利用者数											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和2年3月から、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度には、循環バスの年間利用者数が152,062人まで減少しました。令和5年度には、191,756人まで回復しているものの、依然として現状値や計画値を下回っています。「新しい生活様式」や市民ニーズに注視し、更なる利便性の向上に努める必要があります。											

## 評価結果の公表

### 施策名 利便性の高い公共交通ネットワークの形成

#### 有効性指標 3

指標名	鉄道駅の1日当たり乗車人数（JR大府駅と共和駅の合計）										単位	人
											現状値	24,419.0
年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
計画値	24,650.0	24,890.0	25,130.0	25,360.0	25,560.0	25,830.0	26,070.0	26,300.0	26,540.0	26,770.0	27,000.0	
実績値	24,554.0	19,303.0	19,941.0	21,140.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
算定式、データの出所等	「おおぶの統計」の値で年間の市内の駅利用者数の1日平均利用者数											
計画値、実績値の推移に関する分析と評価	令和5年度における鉄道駅の1日当たり乗車人数は、令和4年度から回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を経て、JR大府駅で12,731人、JR共和駅で8,409人であり、現状値や計画値を下回りました。「新しい生活様式」や市民ニーズに注視し、バスとJR線との乗り継ぎ（場所、時刻）を考慮した上で、更なる利便性の向上に努める必要があります。											

事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
公共交通機関事業	都市政策課	147,991 (147,991)	指標名	循環バスの年間利用者数	妥当性	A
			単年度計画値	205,580.0	有効性	B
			単年度実績値	191,756.0		
			単年度達成率	93.3%		
			最終目標に対する達成率	87.2%	効率性	B
事務事業の方向性						
A：拡大 乗車実態や市民意見を参考に循環バスの路線見直しなどを進め、公共交通全体のサービスレベル向上とともに、市民から親しまれ利用しやすい循環バスの運行を目指します。						
事務事業名	課名	フルコスト (前年度比)	最重要指標		評価点	
駐車場管理事業	建設総務課	56,952 (56,952)	指標名	自動車駐車場入庫台数	妥当性	B
			単年度計画値	230,000.0	有効性	A
			単年度実績値	255,012.0		
			単年度達成率	110.9%		
			最終目標に対する達成率	110.9%	効率性	B
事務事業の方向性						
B：現状のまま継続 今後の駐車場施設の整備、管理について、管理費や受益者負担など運営コストを考慮し、民間運営による事業手法を引き続き検討していきます。						

#### 6 施策の事後評価

現状認識 (施策をとりまく状況の変化や課題等)	新型コロナウイルス感染症の影響を経て、循環バスや鉄道などの公共交通全体の利用者数が依然として低迷しています。一方、循環バスの増便やルート見直しなどについての市民要望は多くなっています。
施策の推進に向けた今後の方針	継続して市民要望を把握するとともに、循環バスの利用状況や関係機関の意見を踏まえ、拡充を始めとする更なる利便性の向上に努め、市民の外出促進を図ります。